# News Release



令和7年11月11日

# 北九州高速鉄道株式会社の軌道事業の運賃変更認可申請に関するパブリック・コメントを実施します

令和7年10月27日、北九州高速鉄道 株式会社(本社:福岡県北九州市)から軌道事業の運賃変更認可申請がありました。

当該申請事案について適正な審査を行うことを目的として、広く利用者から意見を 聴くため、下記の要領にてパブリック・コメントを実施します。

1. 意見募集対象(案件名)

北九州高速鉄道株式会社の軌道事業の運賃変更認可申請に関する意見募集について

2. 申請の概要

別紙(次ページ以降)のとおり

3. 意見募集期間

令和7年11月11日(火)から令和7年11月25日(火)まで

4. 意見の提出先・提出方法

電子政府の総合窓口(e-Gov)

https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/list?CLASSNAME=PCMMSTLIST&Mode=0 「パブリック・コメント」の「案件一覧 (意見募集案件)」欄に掲載された上記の【1. 意見募集対象 (案件名)】を選択し、案件詳細画面の「意見募集要領 (提出先を含む)」を確認の上、e-Gov の意見提出フォームもしくは郵送のいずれかの方法で、日本語にて意見を提出してください。

電話による意見の受付は行いません。

5. その他

提出されました意見は整理の上、e-Gov パブリック・コメントの案件一覧(結果公示案件)内の当該案件の詳細に回答を掲載します。

意見に対する個別の回答は行いません。

< お問い合わせ先> 九州運輸局 鉄道部 計画課

関口

電話 092-472-4051

運輸と観光で九州の元気を創ります

# News Release



変更しようとする運賃の種類、額及び適用方法

別紙1のとおり

申請理由

別紙2のとおり

# その他

申請書の内容については、e-Gov パブリック・コメントの案件一覧(意見募集案件)内の 当該案件の詳細に掲載します。

申請	る運賃の種類、額及び適用方法 現 行
旅客運賃の計算方法及び適用方法	旅客運賃の計算方法及び適用方法
第1.乗車券の種類 (1)普通乗車券 (2)定期乗車券 ①通勤定期乗車券(1ヶ月、3ヶ月、6カ月) ②通学定期乗車券(1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、学期)	第1.乗車券の種類 (1)普通乗車券 (2)定期乗車券 (2)定期乗車券 ①通勤定期乗車券(1ヶ月、3ヶ月、6カ月) ②通学定期乗車券(1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、学期)
第2.旅客運賃の計算方法 (1)普通旅客運賃の計算 (対キロ区間制)	第2.旅客運賃の計算方法 (1)普通旅客運賃の計算 (対キロ区間制) 1キロまで 180円 1キロを超え3キロまで 210円 3キロを超え5キロまで 250円 5キロを超え7キロまで 290円 7キロを超え9キロまで 320円
(2)定期旅客運賃の計算 (表定制) 表定制とし、定期旅客運賃は下記のとおりとする。 ①通勤定期	(2)定期旅客運賃の計算 (表定制) 表定制とし、定期旅客運賃は下記のとおりとする。 ①通勤定期
1ヶ月	1ヶ月
キロ程 通勤定期運賃	キロ程 通動定期運賃
1 8,400円	1 7,700円
3 9,700円	3 8,700円
5 12,200円	10,300円
6	6
7 14,300円	7 11,800円
9 16,000円	9 13,100円
3ヶ月	3ヶ月
キロ程 通勤定期運賃 1 24,000円	キロ程 通動定期運賃 1 22,100円
2	2
3	3 25,000円
4 34,800円	29,500円
6	<u> </u>
7	7 33,800円
8 45.600	8 37,500円
9 45,00011	9 37,50011
6ヶ月	6ヶ月
キロ程 通勤定期運賃	キロ程 通勤定期運賃 42,000円
1 45,400円 2 52,400円	1 42,000円
3	3
4 65.900円	4 56,000⊞
5	5
77,300円	7 64,000円
8 86 400円	8 71 100 🖽
9	9 71,100(1)
(以下、変更なし)	(以下、変更なし)
(M   (	(MTXXX 6U)
	•

## 変更を必要とする理由

## 1. 開業から現在までの経営状況

弊社は、昭和60年1月に小倉都心部と小倉南区の住宅街を結ぶ路線として開業し、市民の移動機会を確保する重要な社会インフラとして、年間1,200万人の方にご利用いただいています。北九州都市圏の基幹的輸送機関として都市交通の円滑化や道路交通の渋滞緩和により、都市機能の向上に貢献しているほか、二酸化炭素排出量の削減など、環境負荷の軽減にも寄与しています。開業以来、厳しい経営状況が続いていますが、数多くの経営改善に取り組み、安全・安定輸送を維持し、重大事故ゼロを継続しています。

## 2. 輸送人員の推移

開業当初は輸送人員の確保に苦慮しましたが、沿線開発の進展や、平成10年の小倉駅への延伸に伴ない利便性が向上したことで、輸送人員も順調に伸びています。令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、輸送人員は、大幅に減少しましたが、コロナ禍に於いても安全・サービス向上等の重点施策に着実に取組んだことに加え、社会・経済活動の回復が進んだことが追い風となり、令和6年度の輸送人員は、開業以来最高となる1,254万人を記録することが出来ました。しかしながら、今後の沿線人口の減少や高齢化により、輸送人員は減少に向かうものと見込んでいます。

#### 3. 設備投資

安全安定輸送を維持するための設備については、開業から40年を経過し老朽化した車両や信号通信設備をはじめ、施設全般が更新時期を迎えます。新技術導入や設備全体のスリム化といった新たな視点を取り入れながら、設備全体の最適化や費用低廉化を図るべく検討を行っていますが、大規模な投資が必要となります。

加えて、近年の動力費や材料費などの高騰など社会的要因による経費増の影響も重なり、大幅な費用の増加が見込まれます。

#### 4. まとめ

今後も公共交通機関としての役割を果たすため、必要な設備投資、人材確保等、多くの課題があるなか、安全・正確・快適、そして安定した輸送を継続するためには、そのための費用を確保する必要があり、今回の運賃改定が必要と判断したものです。

持続可能な公共交通機関として、輸送需要に応えるとともに沿線地域の活性化にも寄与するため、一層の経営努力を継続してまいります。